

令和4年度京田辺市大学連携地域貢献研究事業実績報告書

※書き切れない場合は、2枚目以降に記入してください。

●研究課題名

京田辺市における新しい観光マップの作成を通じた
地域理解の促進を目指す実践的研究

●研究者名

天野 太郎

●研究期間

令和4年5月 1日～ 令和5年3月31日

●研究の概要（背景・目的等）

京田辺市は人口増加の続く数少ない自治体として知られているが、新住民、さらには昼間人口の多くを占める大学生が、京田辺市の地域の魅力を十分に理解していないという課題がある。京田辺は単なる郊外住宅地域としてだけではなく、さまざまな歴史遺産を有する文化に薫る地域性を有しているにもかかわらず、特に若年層にとってはそのイメージは希薄である。この地域に対する理解と愛着とを醸成し、単なる観光客や移住・定住人口の数値的な増加を目指すのみならず、関係人口を構築していくことは、京田辺市に限らずこれからの地域社会に共通する持続可能な活性化に向けての課題でもある。こうした問題意識と地域課題の解決を目指して、本研究では既存の地域資源の正確な理解や、京田辺市で学ぶ大学生の視点を通して、京田辺市の総合戦略のうちの基本目標である【3 京田辺へ新たな人の流れをつくるまちづくり】に向けての実践的な研究を行うことを目的とする。

●研究の内容（方法・経過等）

観光マップの作成を行うため、周辺地域や観光地域におけるマップ作成の実態について調査を行い、これからの観光マップに求められる要素、紙ベースのマップと動画を中心としたデジタル的なものとの関係性について検討を行った。さらに、若年層が関心を持つ京田辺市の観光資源を調査するため、同志社女子大学の学生を対象として調査を行い、選好地をピックアップした紹介動画を学生主体で作成し、マップ上にQRコードを通して観光資源の動画紹介を行うことで紙ベースの観光マップ上に動画情報をリンクさせることができた。

●これまで得られた研究の成果

本研究では、京田辺市における新しい観光マップの作成を行うため、同志社女子大学の京田辺キャンパス・今出川キャンパスの学生を対象として、京田辺市内にある観光資源を調査

し、学生の視点からの選好地について調査を行なった。その結果を元として、全国の観光マップの新しい動向について検討し、紙ベースの観光マップ上に各観光資源の動画をリンクして紹介し、視覚的に観光資源の様子を理解できる観光動画マップを実践的に作成した。

この観光動画マップの作成を通して、どのような観光資源や紹介の方法が、大学生を中心とした若年層の地域への理解促進に寄与するのかを検討することができるとともに、選好地の調査や動画撮影を中心として学生を実践的に参画させ、京田辺の観光資源に対する発見や理解の深化を学校教育の側面からも行うとともに、若年層の視点と一般的な観光マップとの相違についても明らかにすることができた。

●具体的データ等

添付の観光動画マップを参照ください。

●研究を通じての自己評価

実際に観光動画マップを作成・印刷することができた点と、学生を参画させて教育的効果や京田辺に対する地域理解の促進につながった点については、研究目的に対して一定の達成ができたものと評価できる。今後はこのマップを活用した観光客への発信とともに、大学教育を中心とした教育現場における京田辺地域教育の活用や、本マップのアップデートや深化を持続的に図ることで、研究目的でも指摘した京田辺市の総合戦略のうちの基本目標である【3 京田辺へ新たな人の流れをつくるまちづくり】に向けて貢献できるものと評価する。

●その他

今後の展開として、今回作成した観光動画マップを、京田辺に訪問した観光客にも提示するとともに、大学などでの実際の地理教育、地域教育に活用し、そこで得られた課題をフィードバックして観光マップの醸成を行うことを予定している。